１　経営の基盤

(1) 地域の実態

象潟地域は、にかほ市の南端、山形県との県境に位置しており、西には日本海が広がっている。市の一部は鳥海国定公園に指定されており、南には霊峰鳥海山が聳え、その北西の裾野には、江戸時代までは西の松島とも謳われた天然記念物九十九島が広がっている。秋田県の中では最も温暖であり、自然豊かで風光明媚な地域である。この優れた自然環境は、平成２８年に「鳥海山・飛島ジオパーク」に認定されている。

象潟地域は歴史・文化の薫り高い地域でもあり、俳聖松尾芭蕉が訪れた最北の地として、また奥の細道で「象潟や雨に西施がねぶの花」と詠った土地としても有名である。さらに平成３０年には、にかほ市が「～北前船寄港地・船主集落～」として日本遺産に認定されている。

産業としては、農業、林業、漁業、建設業、製造業、商業、サービス業などがあるが、製造業が最も盛んで、製造業に従事している保護者が多い。

本校は、平成３０年４月、象潟小学校、上浜小学校、上郷小学校の３小学校が統合し、象潟地域唯一の小学校、新生象潟小学校として再出発した。そのため、地域の学校に対する関心は高く、保護者のみならず地域住民も教育活動に協力的である。また、関係諸機関との連携も良好であり、学校を取り巻く教育環境に恵まれている。

(2) 児童の実態

統合後７年が経過し、児童の間に居住地域による垣根はなく、学年をまたいだ全校縦割り活動により、同学年の児童のみならず、異学年の児童とも仲よく活動している。

副題「かしこく　ゆたかに　たくましく」の「かしこく」は、進んで学び続ける子どもを、「ゆたかに」は、思いやりの心をもち、仲間や地域を大切にする子どもを、「たくましく」は、自他の命を大切にし、あきらめず、粘り強く、やり抜く子どもを育成することを目指している。この３つの言葉は、本校校歌『笑顔輝く』にも歌われている。

「かしこく」については、前年度の諸検査結果を見ると、教科平均は全国・県と比較して学年によっては下回っている。また、学習意欲も県平均を大きく下回り課題となっている。児童の主体性や対話を大切にした授業改善や基礎基本の定着を図るために個に応じた指導の充実を図っていく必要がある。

「ゆたかに」については、「自分にはよいところがある」と思っている児童が、学年によっては県平均を大きく下回っている。また、互いを理解し合えずに起こる小さなトラブルも見られる。これまでも課題としてきた「あいさつ」については、家庭や地域と連携しながら改善を図っている。一人一人の居場所を確保し、互いのよさを認め尊重し合う活動や、心が通じるあいさつを大切にしながら、自己肯定感や思いやりの心を育てていきたい。

「たくましく」については、自分の目標や夢をもち、各得意分野で自信をもって活躍している児童が多い。さらに可能性を広げるため、途中で困難にあっても、あきらめず最後まで粘り強く取り組む力を身に付けさせたいと考える。昨年度は大きな事故は起きていないものの、交通安全等に関して地域の方から連絡をいただく事案が複数あり、自他の命を大切にする安全教育の継続により意識の向上を図っていく。ゲームやインターネット利用で夜更かしをしたり、朝食を摂ってこなかったりと、基本的生活習慣が身に付いていない児童もおり、こども園や中学校、家庭と連携しながら、基本的生活習慣の確立を目指していきたい。

２ 学校教育目標と経営の基本方針・校訓

(1) 学校教育目標と副題

ふるさとに学び、夢に向かって努力する子どもの育成

～ かしこく　ゆたかに　たくましく ～

副題の「かしこく」は、進んで学び続ける子どもの育成を指し、「ゆたかに」は、仲間を大切にする思いやりある子どもの育成、「たくましく」は、自他の命を大切にする子ども、あきらめず、粘り強く、やり抜く子どもの育成を指す。この言葉は、校歌『笑顔輝く』の歌詞にも記されている。

(2) 経営の基本方針

○　教師と子どもが信頼関係で結ばれ、子ども同士が互いに認め合い、磨き合って「学力」と「思いやりの心」を身に付け、「自他の命を大切にする」「自分の夢や目標に向かって、あきらめず、粘り強く、やり抜く力」を育成する学校づくりを進める。

○　ふるさとを知り、ふるさとに貢献しようとする子どもを育てるため、ふるさと象潟及びにかほ地域を学びのフィールドとする「にかほ地域学」を積極的に推進する。

(3) 校訓「心廣體胖（しんこうたいはん）」　（中国儒教の経書「大学」より）

【心（こころ）広（ひろ）くして体（タイ）胖（ゆた）かなり】

「心を広くもち、いろいろな人や考え方や物事を温かい心で受け入れる（多様性）」の意

３ 目指す姿

(1) 目指す子ども像

○ 進んで学び続ける子ども　『かしこく』　※「できた姿」と振り返りの充実

・めあてをもち、「わかろう」「できるようになろう」と努力する子ども
・自分の考えをもち、学び合いに活かし、磨き合って伸びようとする子ども
・学んだことの意義を感じ、自分の生活に活かそうとする子ども

○ 仲間や地域を大切にする子ども　『ゆたかに』　※親切・思いやりを重点内容項目に

・だれとでも明るくあいさつを交わし合う子ども
・思いやりの心をもち、自分の行動に表すことができる子ども
・善悪の判断ができ、正しい行動ができる子ども

○ 自他の命を大切にする子ども　『たくましく』

・自らの健康に関心をもち、規則正しい生活ができる子ども
・安全に気を配り、周りの人にも働きかけながら事故防止に努める子ども
・自分の夢や目標に向かってあきらめず、粘り強く、やり抜く子ども

(2) 目指す教師像

○ 学ぶ意欲を引き出し、学力の保障に努める教師

・教材研究を深め、学習の必要感を感じ取ることができるよう、吟味された課題から始まり、まとめまで整合性のとれた授業を展開する教師
・子ども同士の学び合いを大切にし、子どもの考えを授業のまとめに活かす教師
・個に応じた支援を考え、実践する教師

○ 子どもに寄り添い、子どもを理解する教師

・子どもに目と心を配り、小さな変化を見逃さず、心を通わせる教師
・子どもの特性を理解し、必要な対応について学び、実践する教師

○ 子どもを励まし、成長を支えることができる教師

・よいことは認め、褒め、失敗は、しっかり寄り添い、どうすればよいか、一緒に考え、よりよい方向へ導くことができる教師

(3) 目指す学校像

○ **地域に開かれ、地域を活かした触れ合いのある学校**
・諸行事等が地域に開かれ、地域の方々が集い、子どもと触れ合える学校
・地域の自然や歴史、文化、産業などについて地域の方々から積極的に学ぶ学校

○ **子ども、教職員、保護者が信頼感で結ばれた学校**
・子どもと教師、教師と保護者のコミュニケーションが大切にされ、互いの思いを理解し合って子どもを育てようとする学校

○ **教育環境が整った安全・安心な学校**
・関係機関と連携して、子どもの学習・生活環境の点検・整備に努める学校

4 経営の重点と具体的施策

(1) 学習意欲の向上と学力の定着『かしこく』

○ **「わかった」「できた」が実感できる授業づくり**
・個に応じた指導の充実を図る。

○ **ユニバーサルデザインに基づく授業づくり**
・子どもが単元及び１単位時間の見通しをもって学習できるようにする。
・その学習が、何にどう役立つのか、学ぶ意味が子どもに分かるようにする。

○ **生徒指導の実践上の視点を活かした授業づくり**
・自己決定の場を設けるように努めるとともに、互いに学び合い、学んだよさを味わうことができる授業を展開する。

○ **諸検定への挑戦**
・漢字検定などの検定試験への積極的な挑戦を推奨する。

(2) 豊かな心を育む教育活動の充実『ゆたかに』

○ **子ども一人一人にとって居場所のある、居心地のよい学級づくり**
・Ｑ－Ｕ調査や学校生活アンケートを活用して子どもの人間関係や思いを把握し、指導に活かす。
・互いを認め合い受け入れる心を育てるため、多様性についての学習を取り入れる。

○ **自己有用感を高める活動の充実**
・学年を超えて子ども同士が関わり合い、認め合い、活かされる場を積極的につくる。

○ **ふるさと象潟・にかほをフィールドにした「にかほ地域学」とキャリア教育の推進**
・全教育活動を通じてにかほ地域学に取り組み、地域への理解を深め、地域に貢献しようとする子どもを育てる。
・キャリアノートなどを通して、家庭と連携し、継続的に行っていく。

○ **「特別の教科 道徳」の着実な実践と全教育活動を通じた道徳教育の充実**
・考え、議論することを大切にして、ねらいに迫る道徳の授業を実践する。
・日々の帰りの会や「思いやりの木」の活動など、親切・思いやりの心を教育活動全体を通じて育成していく。

(3) 生きる力を高める教育活動の充実『たくましく』

○ **望ましい生活習慣を育む指導の継続**
・基本的生活習慣の確立に向け、家庭・地域と連携して指導を継続していく。

○ **地域との連携を図った防災教育の推進**
・避難訓練の日常化を図るとともに、学校近隣の町内と一緒に防災訓練を実施する。

○ **継続した体力づくりの実施**
・外遊びを奨励するとともに、マラソンやなわとびへの継続的な取組を計画する。
・課外の陸上部への参加を積極的に勧める。

○ 自分の夢や目標に向かって、あきらめず、粘り強く、やり抜く力の育成
・『夢カード』の掲示とともに、ドリームフラワー、キャリアノートなどを活用し、自分の夢や目標を大切にする気持ちを高める。

(4) 信頼される開かれた学校づくり

○ **学校運営協議会を核とし、地域と連携した学校運営**
・学校の課題を率直に示し、熟議を行って改善につなげる。

○ **教育相談の充実とニーズに応じた対応**
・個別の支援が必要な児童を中心に、外部の専門家も活用して積極的に保護者を交えた教育相談を行い、ニーズに応じた支援ができるようにしていく。

○ **地域の素材、人材を積極的に活用した教育活動の推進**
・各教科・領域はもとより、必修クラブにも積極的に地域の指導者を活用する。今年度は、茶道、郷土芸能、版画、ゲーム(囲碁・将棋)クラブに地域の方が指導してくださる予定となっている。

○ **学校報、学校ホームページ、メール配信システム等を活用した積極的な情報発信**
・学校報は月２回の発行を原則とし、ホームページは随時更新、メールは必要に応じて配信する。

５　学校経営の全体構想

秋田県学校教育が目指すもの	学校教育目標	にかほ市学校教育の目標
豊かな人間性を育む学校教育 Ⅰ　思いやりの心を育てる Ⅱ　心と体を鍛える Ⅲ　基礎学力の向上を図る Ⅳ　教師の力量を高める	ふるさとに学び、 夢に向かって努力する子どもの育成 ～かしこく　ゆたかに　たくましく～ 校訓「心廣體胖（しんこうたいはん）」	夢をもち、心豊かで、元気な子どもの育成 ～「活かす力」を育む学校教育の推進～

目指す学校像	目指す子ども像	目指す教師像
①地域に開かれ、地域を活かした触れ合いのある学校 ②子ども、教職員、保護者が信頼感で結ばれた学校 ③教育環境が整った安心・安全な学校	①進んで学び続ける子ども ②仲間や地域を大切にする子ども ③自他の命を大切にする子ども ④自分の夢や目標に向かって、あきらめず、粘り強く、やり抜く子ども	①学ぶ意欲を引き出し、学力の保障に努める教師 ②子どもに寄り添い、子どもを理解する教師 ③子どもを励まし、成長を支えることができる教師

学校経営の基本方針

○　教師と子どもが信頼関係で結ばれ、子ども同士が互いに認め合い、磨き合って「学力」と「思いやりの心」を身に付け、「自他の命を大切にする」「自分の夢や目標に向かって、あきらめず、粘り強く、やり抜く力」の育成を目指す学校づくりを進める。

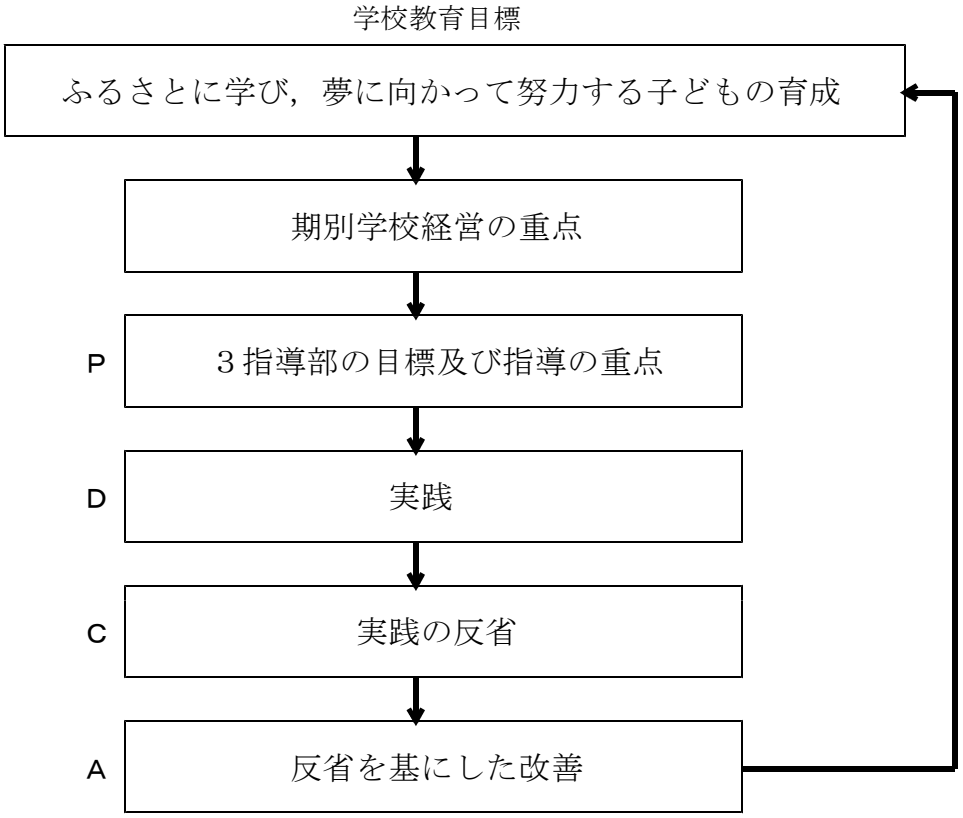
○　ふるさとを知り、ふるさとに貢献しようとする子どもを育てるため、ふるさと象潟及びにかほ地域を学びのフィールドとする「にかほ地域学」を積極的に推進する。

経営の重点

学習意欲の向上と学力の定着	豊かな心を育む教育活動の充実	生きる力を高める教育活動の充実	信頼される開かれた学校づくり
○「わかった」「できた」が実感できる授業づくり ○ユニバーサルデザインに基づく授業づくり ○生徒指導の実践上の４つの視点を活かした授業づくり	○子ども一人一人にとって居場所のある、居心地のよい学級づくり ○自己肯定感や自己有用感を高める活動の充実 ○ふるさと象潟・にかほを題材とした「にかほ地域学」とキャリア教育の推進 ○「特別の教科　道徳」の着実な実践と全教育活動を通じた道徳教育の充実	○望ましい生活習慣を育む指導の継続 ○地域の連携を図った防災教育の推進 ○継続した体力つくりの実施	○学校運営協議会を核とし、地域と連携した学校運営 ○教育相談の充実とニーズに応じた対応 ○地域の素材、人材を積極的に活用した教育活動の推進 ○学校報、学校ホームページ、メール配信システム等を活用した積極的な情報発信

研究主題

主体的・対話的に学び、確かな学力を身に付ける子どもの育成
～「分かる・できる」「学び合い」を実感できる算数科の指導を通して～

６ 期別学校経営の重点

期	月	テーマ	経 営 の 重 点
Ⅰ	4 5	確立	○年間経営計画と運営組織の確立 ○学習・生活の基盤づくり
Ⅱ	6 7	実践	○校内研修の推進と学習指導の着実な実践 ○基本的な学習・生活習慣の定着
Ⅲ	8 9 10	充実	○校内研修・学習指導の充実 ○自律的な生活と学習態度の確立
Ⅳ	11 12	発展	○学習指導の充実・発展と確実な定着 ○認め合い・磨き合いを基にした向上心の育成
Ⅴ	1 2 3	評価 まとめ	○学校評価・教育評価の活用 ○学習・生活のまとめと新年度の準備